

## 同格節を導入する où

高垣由美

yumi.takagaki@kwansei.ac.jp

本発表で扱うのは、以下のような名詞修飾表現である。

Obsédés par l'*hypothèse où une récession américaine serait la source des difficultés de paiement des autres pays*, les Anglais tendaient à mettre à la charge des pays créanciers (dir. François Perroux, *L'Univers économique et social*, 1960)

この例では、où で導入される下線部の従属節は、主要部名詞 *hypothèse* の内容を表している。où にこのような同格の用法があることは、Sandfeld (1977)を除いてこれまでほとんど指摘されることはなかった。このような同格を表す名詞句は、以下の特徴を持つ。

- 1) 主要部名詞が意味的に後続名詞修飾節の内容の枠組みを表す。
- 2) 名詞修飾節は充足した文の形をしている。
- 3) 名詞修飾節は、主要部名詞の表す内容を説明している。

同格節を導く従属節マーカーとしては、他に *que, comme quoi, selon lequel* がある。実際、上例の où はこれらの表現で置き換え可能である。ただし常に交替可能ではなく、競合する場合もしばしば異なったニュアンスを伴う。この 4 種類の同格構文はどう異なるのか、それぞれの成立条件は何かについて、まずは Takagaki (2024)の研究に基づいて述べる。さらにその発展として、特に où の特徴を重点的に考える。

4 種類の従属節マーカーは大きく 2 つに分けられる。複合形の *comme quoi* と *selon lequel* では、話し手が関わり、語用論的な要因に負う部分が多い。これに対して単純形の *que* と *où* の成立条件は、まずは主要部名詞の適切な選択となる。où ではさらに、同格節内の要素が大きな役割を演じる。

où は他の 3 つの同格従属節マーカーとは異なり、主要部名詞として *accident* のような出来語を表す名詞をとることができる。このような主要部名詞の選択制限の記述には、Lyons (1977)の提唱する名詞の三分が有効である。また、où が導入する同格節は、複数の可能性の存在を示唆する点で、*que, comme quoi, selon lequel* とは異なる。

### 参考文献

- Lyons, J. (1977), *Semantics 2*. Cambridge: Cambridge University Press.  
Sandfeld, K. (1977), *Syntaxe du français contemporain*, t. II *Les Propositions subordonnées*. Paris : Droz.  
Takagaki, Y. (2024), Les subordonnées appositives introduites par *que / où / comme quoi / selon lequel*, *Actes du CMLF 2024 - 9<sup>e</sup> Congrès Mondial de Linguistique Française* <<https://doi.org/10.1051/shsconf/202419114005>>.